

◆総合型選抜小論文問題 出題意図
医用工学部

問題	出題意図	解答例
第1回	<p>本学医用工学部のアドミッションポリシーへの理解度と適性、自己研鑽の意欲を多面的に評価することが主な目的である。具体的には、医療（または医工学）分野の進路選択の動機、高校時代の印象的な経験、将来の社会人像を問う設問から、医療技術の発展に貢献したいという「強い関心」や「希求」の原点を確認するとともに、自身の過去（高校時代）と未来を論理的に接続し、適当なテーマを設定して記述する「論理的思考力」と「自己表現力」を評価することを意図している。</p> <p>自身の原体験から将来の展望までが一貫して述べられているかを評価する。単に「医療に興味がある」という抽象的な記述に留まらず、高校時代に目撃したことや自身が経験した具体的なエピソードを根拠として提示できていることが望ましい。その経験がどのように「医療技術への貢献」という志望動機に結びついているか、また、設定した題目（テーマ）に対して自身の導き出した結論が論理的に呼応しているかが求められる。</p> <p>また、文章体裁について以下の項目についても評価する。 構成の適切さ：序論・本論・結論の論理構成に飛躍がないか。 表現の正確性：主語と述語の対応、誤字脱字がないかなど。 記述の誠実さ：読みやすい丁寧な文字で、制限文字数に従って記述されているか。 主題の一致：自身で設定した題目（テーマ）から逸脱することなく、最後まで一貫した主張がなされているか。</p>	<p>解答は一つの正答があるというものでなく複数あることが予想されるため、出題意図のみ掲載する。</p>
第2回	<p>本学医用工学部のアドミッションポリシーへの理解度と適性、自己研鑽の意欲を多面的に評価することが主な目的である。具体的には、将来の目標実現に向けた高校時代の努力、大学での取り組み、目指す医療従事者像について問う設問から、「自己学習および自己研鑽に努めることができる」資質、あるいは「修学するための自己学習・自己啓発を積極的に行う意志」を有しているかを評価するとともに、過去の具体的な努力（学習・部活動等）を大学での学びにどう昇華させるかという、具体的な計画性を確認することを意図している。</p> <p>過去の努力を客観的に振り返り、それを大学での具体的な学習計画へと繋げる「自己研鑽の継続性」について述べられていることが望ましい。高校時代の部活動や学習における具体的な創意工夫の跡が示されているか、そしてその経験から得た学びを、本学のカリキュラムや目指す医療従事者像にどう活かそうとしているかの主体性を確認する。自己啓発の意志が具体的なかつ現実的な行動プランとして論じられているかが求められる。</p> <p>また、文章体裁について以下の項目についても評価する。 構成の適切さ：序論・本論・結論の論理構成に飛躍がないか。 表現の正確性：主語と述語の対応、誤字脱字がないかなど。 記述の誠実さ：読みやすい丁寧な文字で、制限文字数に従って記述されているか。 主題の一致：自身で設定した題目（テーマ）から逸脱することなく、最後まで一貫した主張がなされているか。</p>	<p>解答は一つの正答があるというものでなく複数あることが予想されるため、出題意図のみ掲載する。</p>
第4回	<p>本学医用工学部のアドミッションポリシーへの理解度と適性、自己研鑽の意欲を多面的に評価することが主な目的である。具体的には、AI等の科学技術の発展がもたらす職種（臨床工学技士・臨床検査技師・技術者・科学者等）の役割の変化と、入学後の取り組みを問う設問から、「科学的探究心」を持ち、技術革新という客観的な情勢変化を自身が志望する職種に引き寄せて考察する能力を評価する。あわせて、国家資格職や研究職を「強く希求する人」として、時代の変化に即応しながら医療技術の発展に貢献しようとする意欲を有しているかを評価することを意図している。</p> <p>技術革新という客観的事実に対し、専門職を目指す者としての「当事者意識」と「科学的探究心」を有していることが伝わる内容であることが望ましい。AI等の発展を単なる一般論として述べるのではなく、自分が志望する職種（臨床工学技士・臨床検査技師等）の具体的な業務にどう影響するかを予測できているかが要点となる。その変化を前にして、大学入学後どのような知識・技能を習得すべきかという、自身の課題解決に向けた論理的な考察力を評価する。</p> <p>また、文章体裁について以下の項目についても評価する。 構成の適切さ：序論・本論・結論の論理構成に飛躍がないか。 表現の正確性：主語と述語の対応、誤字脱字がないかなど。 記述の誠実さ：読みやすい丁寧な文字で、制限文字数に従って記述されているか。 主題の一致：自身で設定した題目（テーマ）から逸脱することなく、最後まで一貫した主張がなされているか。</p>	<p>解答は一つの正答があるというものでなく複数あることが予想されるため、出題意図のみ掲載する。</p>
第6回	<p>本学医用工学部のアドミッションポリシーへの理解度と適性、自己研鑽の意欲を多面的に評価することが主な目的である。具体的には、医療職や医用工学分野を目指す動機、今後のアプローチ、将来の関わり方を問う設問から、医用工学を学ぶ目的と意欲を再確認し、専門分野に対してどのように関与していくかという具体的な「アプローチの論理性」を評価するとともに、広く医工学分野の職に従事することを希求する、明確なキャリアビジョンを有しているかを評価することを意図している。</p> <p>医用工学分野や医療職に結び付けて志望動機を再確認できるとともに、将来のキャリアに向けた「アプローチの明確さ」が述べられていることが要点となる。なぜ本学の医用工学部でなければならないのか、卒業後に医療機関や企業等どのように社会に貢献したいのかというビジョンが、具体性を持って語られていることが望ましい。限られた文字数の中で主題を一つに絞り込み、自身の適性と将来の目標を結びつける構成力の高さも併せて評価する。</p> <p>また、文章体裁について以下の項目についても評価する。 構成の適切さ：序論・本論・結論の論理構成に飛躍がないか。 表現の正確性：主語と述語の対応、誤字脱字がないかなど。 記述の誠実さ：読みやすい丁寧な文字で、制限文字数に従って記述されているか。 主題の一致：自身で設定した題目（テーマ）から逸脱することなく、最後まで一貫した主張がなされているか。</p>	<p>解答は一つの正答があるというものでなく複数あることが予想されるため、出題意図のみ掲載する。</p>